

中期経営計画（NSG26） （2024年度～2026年度）

2024年4月26日



NSR 23 (21~23年度)の総括(1)

■ 売上高、経常利益とも、過去最高を達成

- 過去からの戦略投資で整えた供給能力を活かし、旺盛な需要・受注に応えた
- 環境、エネルギー、IT、医療など、サステナビリティ成長分野の期待に応えた高機能・独自製品が成長ドライバーに

	NSR23	2022.3期		2023.3期		2024.3期	
連結売上高 (百万円)	42,000	44,795	○	49,055	○	44,727	○
連結経常利益 (百万円)	4,200	4,599	○	4,317	○	3,699	×
連結ROS (経常利益/売上高)	10%以上	10.3%	○	8.8%	×	8.3%	×
連結ROA (経常利益/総資産)	10%以上	9.5%	×	8.2%	×	6.9%	×
連結ROE (純利益/株主資本)	8%以上	9.4%	○	8.6%	○	6.8%	×
連結配当性向 (配当/税引後利益)	40%程度	40.5%	○	41.7%	○	49.7%	○
(連結)高機能・独自製品売上高比率	70%以上	63.0%	△	64.0%	△	66.3%	△
CO2排出量削減率 2013年度比	2030年目標 ▲30%	▲16%	○	▲35%	○	▲36%	○

NSR 23 (21~23年度)の総括(2)

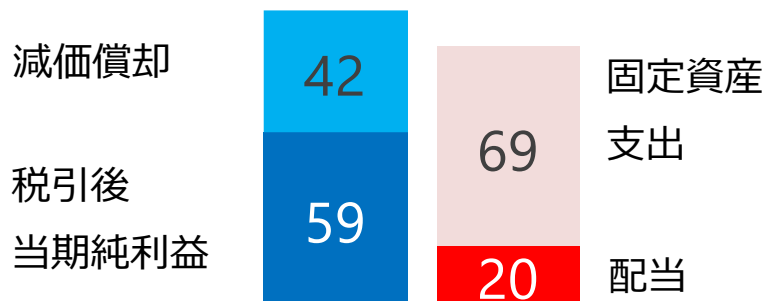
■ 株主還元を充実させるとともに、減価償却額以上の設備投資を実行

連結キャッシュフローの比較

(注) 連結ベース、3年間の累計額
1株当たり配当金は株式併合調整

NSR20

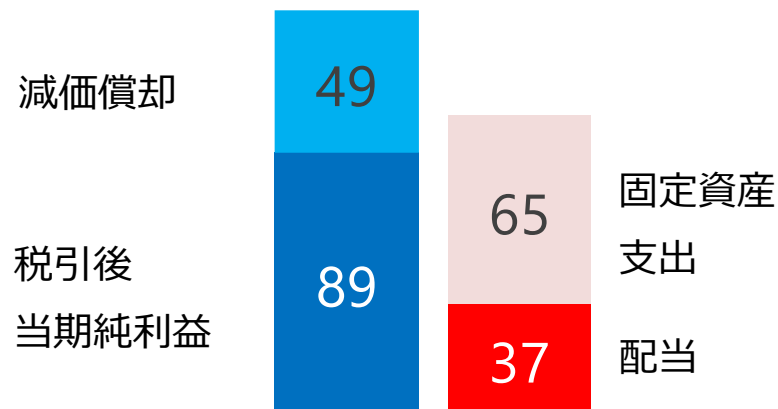
※平均配当性向 33.5%



(億円)	2019.3期	2020.3期	2021.3期
減価償却	12.9	13.8	15.3
税引後当期純利益	26.4	14.0	18.3
配当	8.6	5.8	5.2
固定資産支出	31.5	21.6	15.3
配当金/株	130円	80円	110円

NSR23

※平均配当性向 43.6%



(億円)	2022.3期	2023.3期	2024.3期
減価償却	15.8	16.0	16.9
税引後当期純利益	31.8	30.9	25.9
配当	10.4	13.2	13.0
固定資産支出	17.8	20.2	26.9
配当金/株	210円	210円	210円

■ 枚方工場・タイ精線能力増強投資

▶ 枚方工場 極細線能力増強



極細伸線機導入 23年4月稼働



極細線検査場拡張 22年12月

▶ タイ精線 ばね材機能増強



ニッケルメッキ工場建設 22年6月稼働



ばね材用ニッケルメッキ設備 22年6月稼働

■ 枚方工場における「金属繊維製造部門のリフレッシュ投資」

- 概要：ナスロンフィルター製造設備のリフレッシュ投資と生産性向上のためのレイアウト見直し
- 目的：サステナビリティに貢献するナスロンフィルターの生産基盤強化



リーフディスク型フィルター用自動超音波洗浄装置
2022年12月稼働



ナスロンフィルター用省エネハイブリッド型熱処理炉
2023年4月稼働

(参考) 小型プラントによる水素関連実証プラント

■ 触媒ワイヤーを用いた『MCHからの水素回収プラント』完成

- ▶ 水素貯蔵回収モジュールの実証実験装置を枚方工場構内に導入し、連続運転によるデータ収集を開始（モジュールの信頼性の検証）



MCH: Methylcyclohexane (メチルシクロヘキサン)

- ✓ 常温・常圧で無色透明、水素の脱着が可能
- ✓ 従来の石油系インフラによる輸送と貯蔵が可能



小型プラント実証実験装置

2035年の「ありたい姿」

Micro & Fine Technology を極めて
お客様にとって価値ある製品を独自技術で創り続け、
サステナビリティ社会の発展に貢献し
ステンレス鋼線No.1カンパニーの地位を継続していく

26 中期スローガン

サステナビリティ成長分野へ高機能・独自製品の
開発・拡販と企業価値向上により持続的成長を図る。

NSG : Nippon Seisen **Sustainable Growth**

1. サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の開発深化

➤ 技術力向上と積極投資による圧倒的な競争力の強化

- 極細線（太陽光発電パネル用途など）
- 極細ばね材（半導体・電子部品向け検査コンタクトプローブ用途など）
- 超精密ガスフィルター（半導体製造装置など）

➤ 高度化する各分野の要求特性への対応

- 再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電）
- 医療（カテーテルガイドワイヤーやインシュリン自己注射器用ばね）
- I o T / A I（半導体、電子部品）
- 自動車 C A S E（自動運転、E V）

2. 生産基盤強化と生産性向上

➤ 設備投資の推進

- 極細線の能力増強投資
- 省人化・自動化投資
- 東大阪工場における酸洗・被膜工程の自動化
- グローバル拠点の機能拡大（タイ精線株式会社、耐素龍精密濾機（常熟）有限公司、大同不銹鋼（大連）有限公司）

➤ SDGs 対応

- カーボンニュートラル計画推進（省エネ投資など）
- サプライチェーン排出量（Scoop 1+2+3）削減と積極的な情報開示

➤ IoT 活用

- 業務系システムの高度化
- クラウド化やAI活用

3. 水素回収技術の深化

➤ MCHからの水素回収技術

□ 触媒ワイヤーの開発：水素回収効率性の改善

※ MCH：Methylcyclohexane（メチルシクロヘキサン）

➤ アンモニアからの水素回収技術の確立

➤ 水素回収技術、貯蔵技術、分離精製技術の組合せによる小型プラントの商用化

4. ESG経営：資本コストや株価を意識した経営（PBR1倍以上を目指して）

- **ステークホルダーとのコミュニケーション強化**
 - SR・IRの拡充

- **資本収益性の維持・向上**
 - 設備投資、非財務戦略投資（研究開発、人的資本経営）

- **株主還元策の強化**
 - 配当性向50%程度へ引き上げ

- **働き方改革**

- **コーポレート・ガバナンスのレベルの向上**

I. サステナビリティ成長分野へ高機能・独自製品を積極展開

太陽光発電パネル製造：高強度極細線

耐水素脆性ばね：ハイブレム-S

原子力発電用部材：304

海底ケーブル：316N

風力発電（炭素繊維）：ナスロンフィルター

水素エネルギー：触媒ワイヤー

：水素吸蔵合金

再生可能 エネルギー

MLCC製造：極細線

電磁波シールド：パーマロイ・磁性材料

CMOSセンサー製造：極細線

電流制御用シャント抵抗器：マンガニン

硝子製造：金属繊維ナスロン®

バッテリーセパレーター製造

：ナスロンフィルター

半導体製造装置：NASclean®

自動車 CASE

サステナビリティ 成長分野

医療

インシュリン自己注射用ばね：ハーキュリー®

低侵襲治療：ハーキュリー®

歯列矯正ワイヤ：604PH

手術縫合針：SUS420J2

注射針内芯：SUS304

ランセット針：SUS304N1

血液分析用液クロカラム製造

：ナスロンフィルター

I o T / A I

半導体製造装置：NASclean®

半導体検査装置：604PH

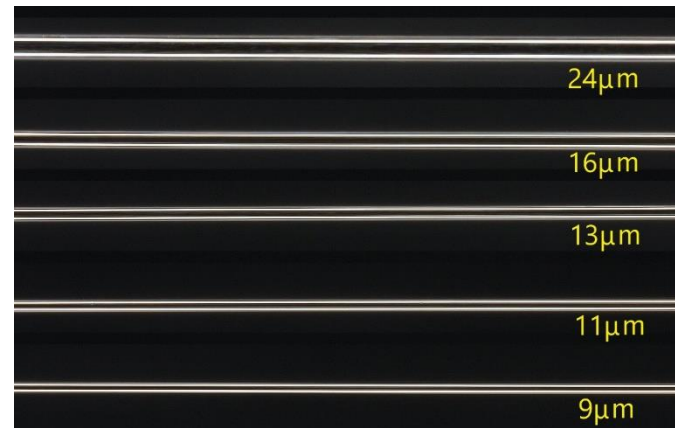
：ハーキュリー®

：高強度エレメタル

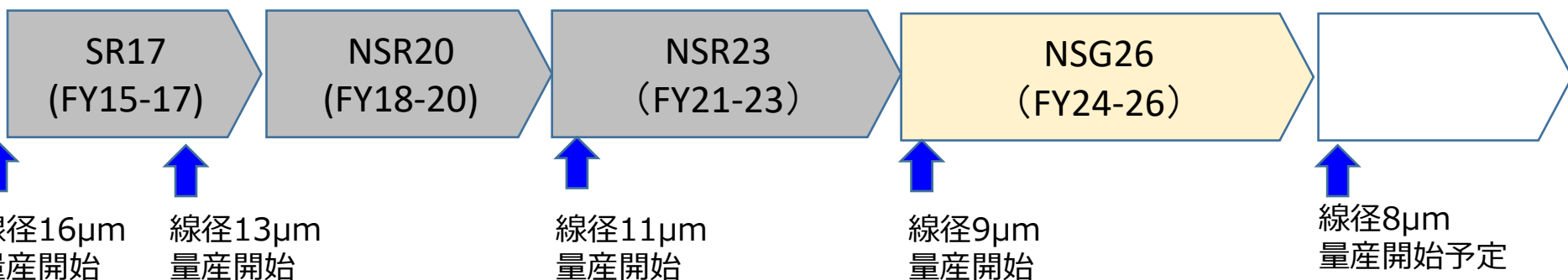
MLCC離型材製造：ナスロンフィルター

■ スクリーン印刷用極細線

- スクリーン印刷に用いられる極細線の細径化は、太陽光発電パネルの発電効率向上に貢献
- 高機能極細線は電子部品の高性能化に貢献

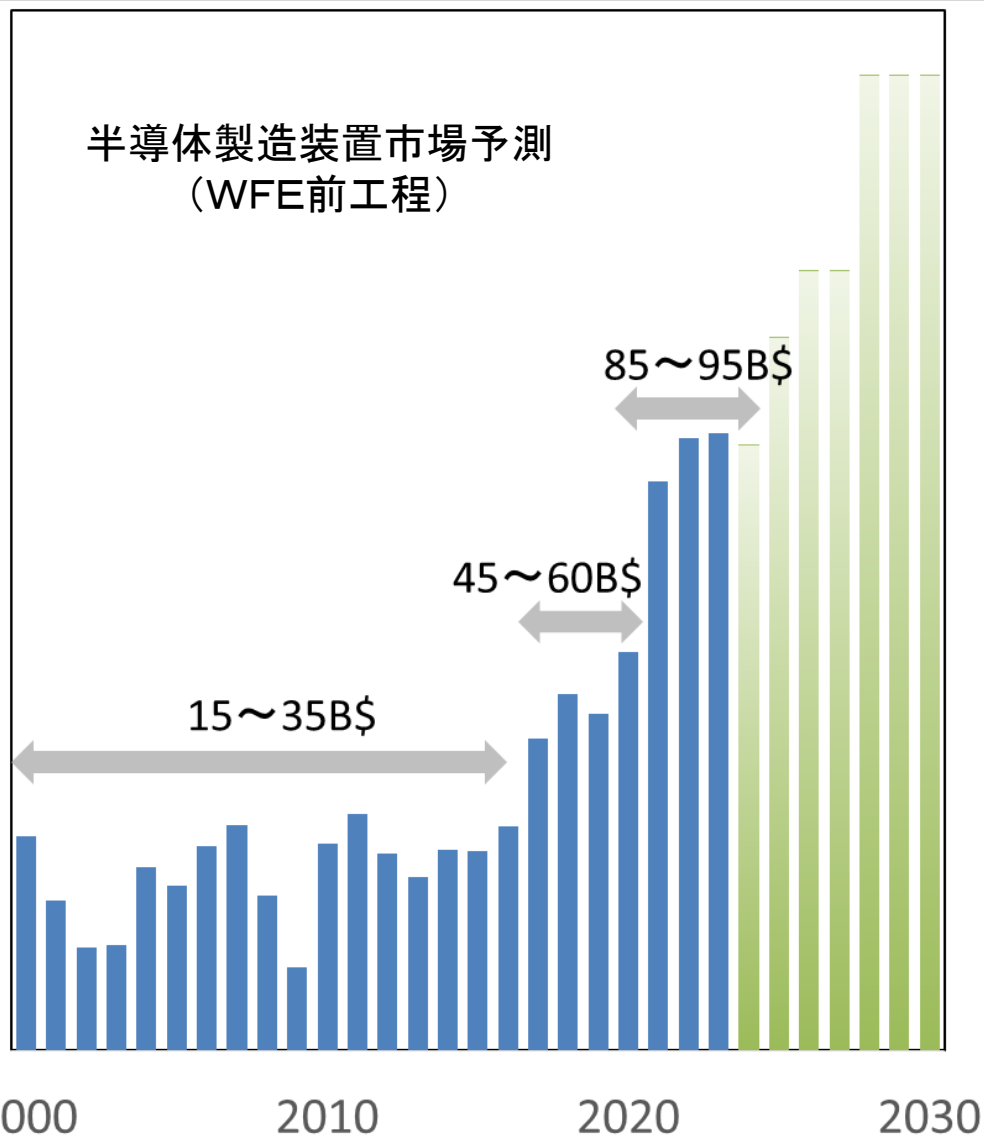


【細径化の変遷】



- 最先端のニーズは、シングルμmに突入
- さらなる細径化に向けた製造技術を確立

■ デジタル社会の進展に伴い半導体製造装置市場は今後さらに拡大



Source : Semiconductor Equipment and Materials International (2000-2023)



半導体ガス用フィルターNASclean®



新製品:半導体ガス用小型精製器

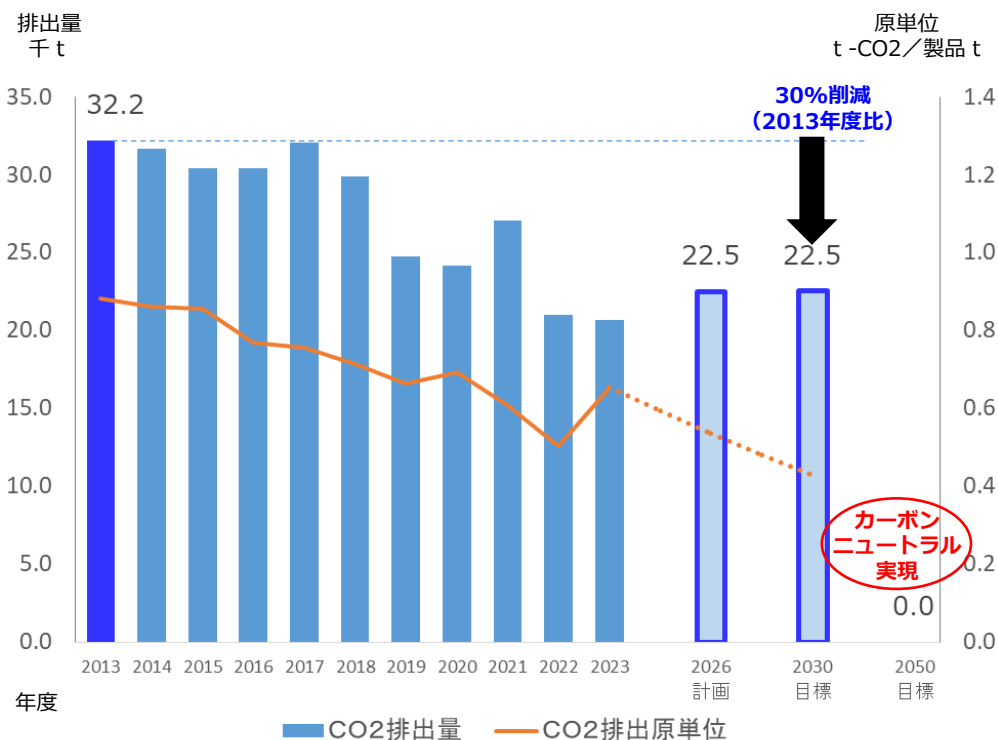
Ⅱ. 気候変動への取り組み 地球環境保護

■ CO2排出量削減目標

- 2030年度 30%削減(2013年度比)
- 2050年度 カーボンニュートラル

【NSR23の実績】

- TCFD提言への賛同、CDP回答
- サステナビリティ委員会設置



【CO2排出量と排出原単位推移と目標値】

NSG26

【カーボンニュートラルに向けて】

- エネルギー使用効率向上
 - ✓ 排熱回収、断熱化
- 都市ガス削減
 - ✓ 電気炉への更新投資
- CO2フリー電力使用拡大

【その他環境影響の低減】

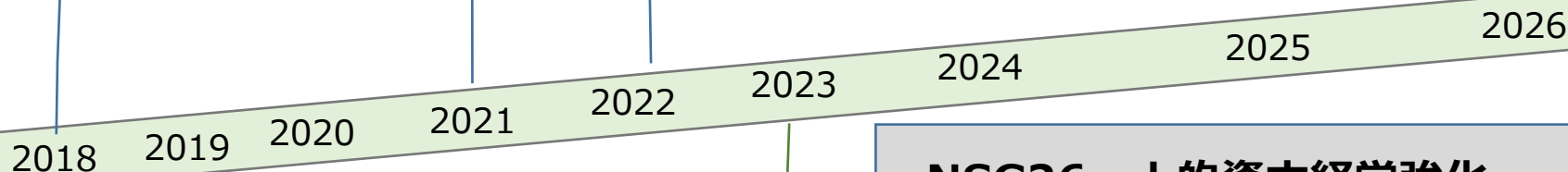
- 化学物質管理
- サーキュラーエコノミーへの移行
 - ✓ 廃棄物量低減、リサイクル推進
 - ✓ 水資源の保全

Ⅲ. コーポレートガバナンスと人的資本経営の強化

- ✓ プライム市場移行
- ✓ 株式報酬制度導入
- ✓ 独立社外取締役1/3以上
 - ・ 女性取締役1名選任
- ✓ 特別委員会設置

- ✓ TOB
 - ・ 大同特殊鋼の形式支配力基準による連結子会社化

- ✓ ガバナンス委員会設置



- ✓ サステナビリティ報告書
- ✓ 日本精線グループ人権方針制定
- ✓ 日本精線グループ贈収賄防止方針制定
- ✓ 健康経営優良法人（5年連続）

2024

- ✓ 株式分割（1⇒5）

NSG26：ガバナンス強化

- ✓ SR/IRの強化（説明会、工場見学）
- ✓ ガバナンス・レベルアップ

NSG26：人的資本経営強化

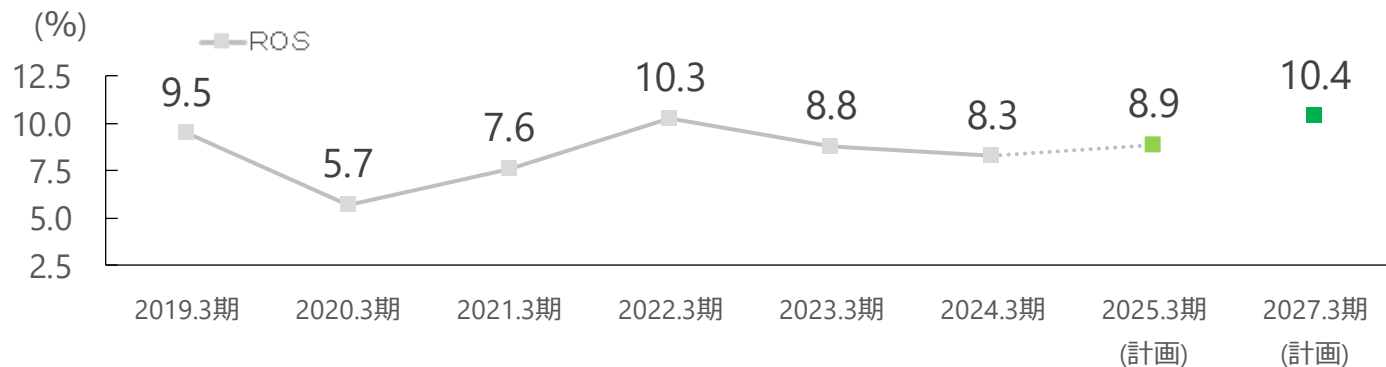
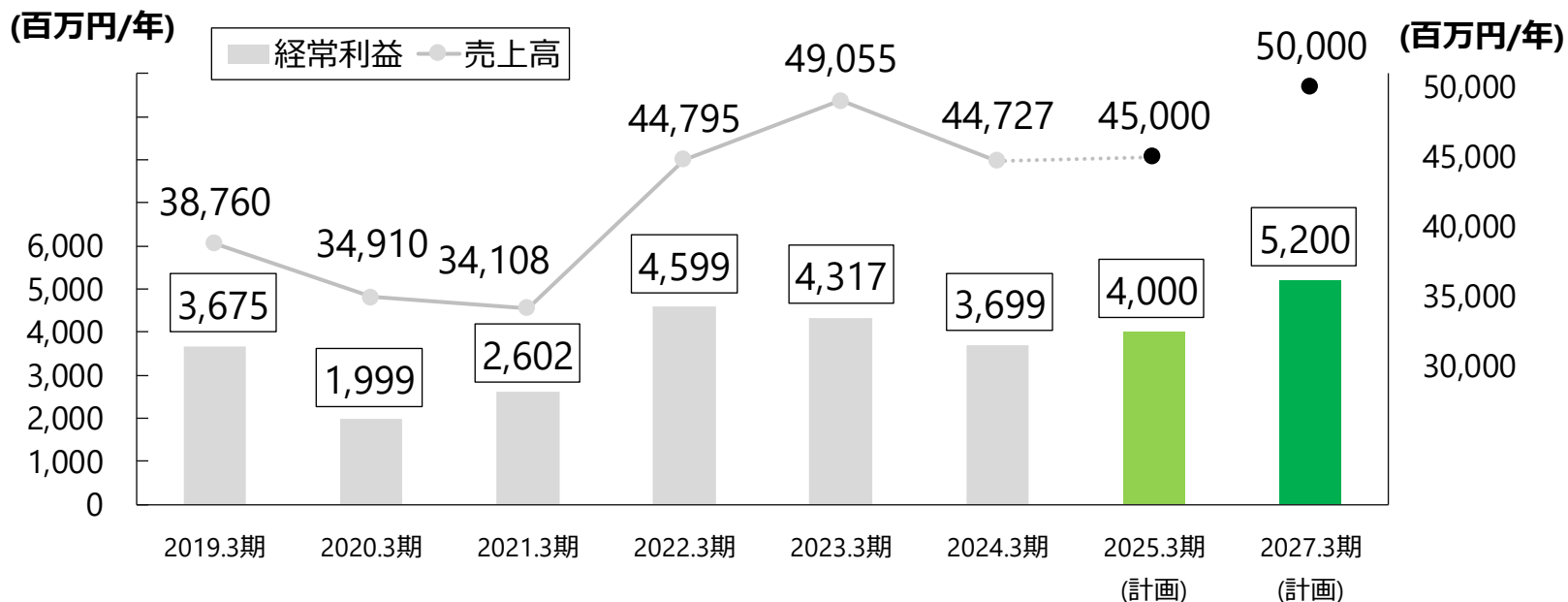
- ✓ 非財務情報の開示充実
 - ・ CDPスコアアップなど
- ✓ 人的資本経営強化
 - ・ 女性活躍推進
 - ・ ワークエンゲージメント強化
 - ・ 健康経営推進 など

NSG26の経営目標

	2024.3期	2027.3期(計画)
連結売上高(百万円)	44,727	50,000
(連結)高機能・独自製品 売上高成長率(前中期平均比)	133%	120%
連結経常利益(百万円)	3,699	5,200
連結ROS(経常利益/売上高)	8.3%	10%
連結ROA(経常利益/総資産)	6.9%	10%
連結ROE(純利益/株主資本)	6.8%	8%
連結配当性向(配当/税引後利益)	49.7%	50%程度
CO2排出量削減率(2013年度比)	▲36%	▲30%

連結売上高・経常利益推移(年度ベース)

■ 売上高・経常利益とも最高値更新を計画



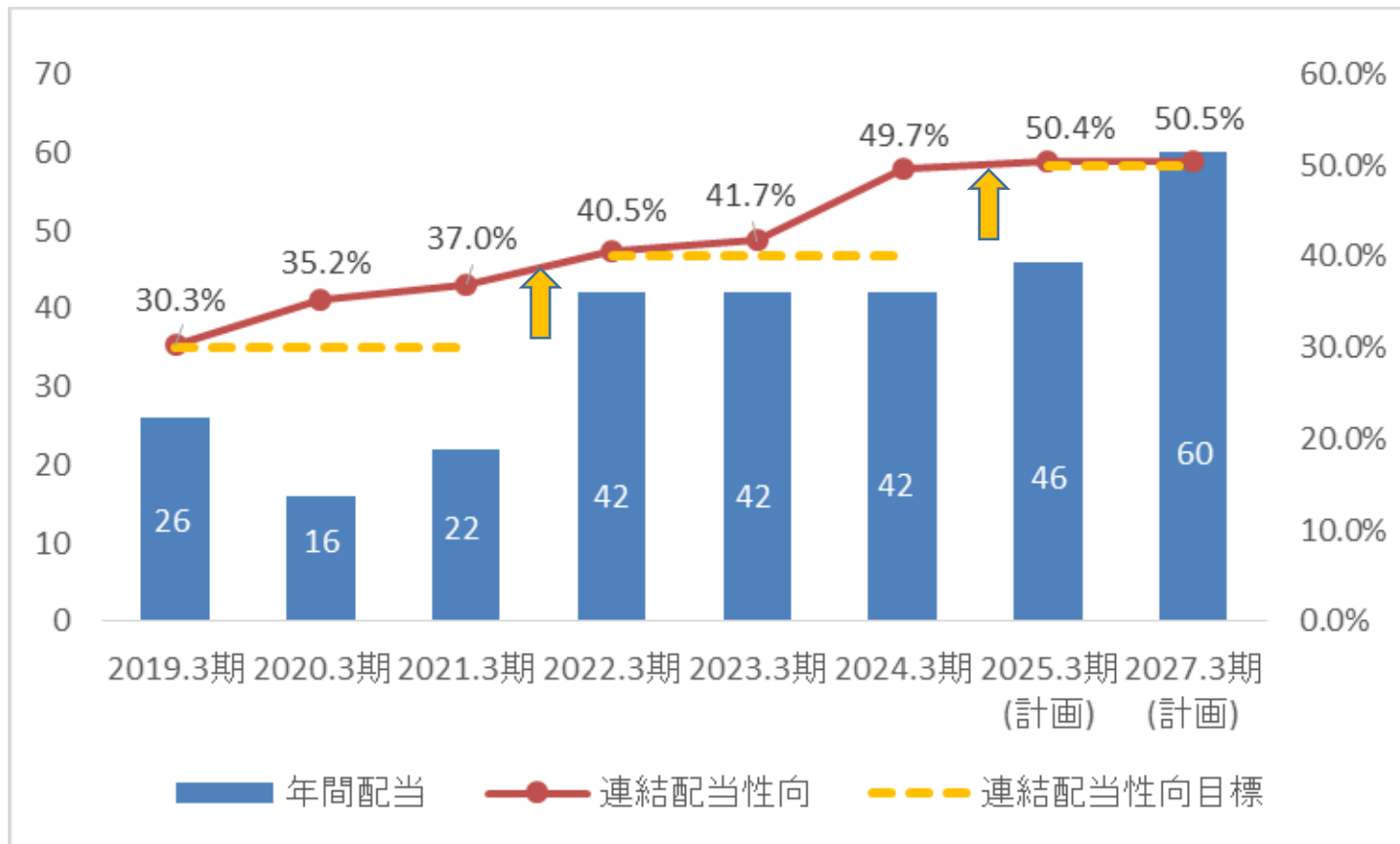
NSR20

NSR23

NSG26

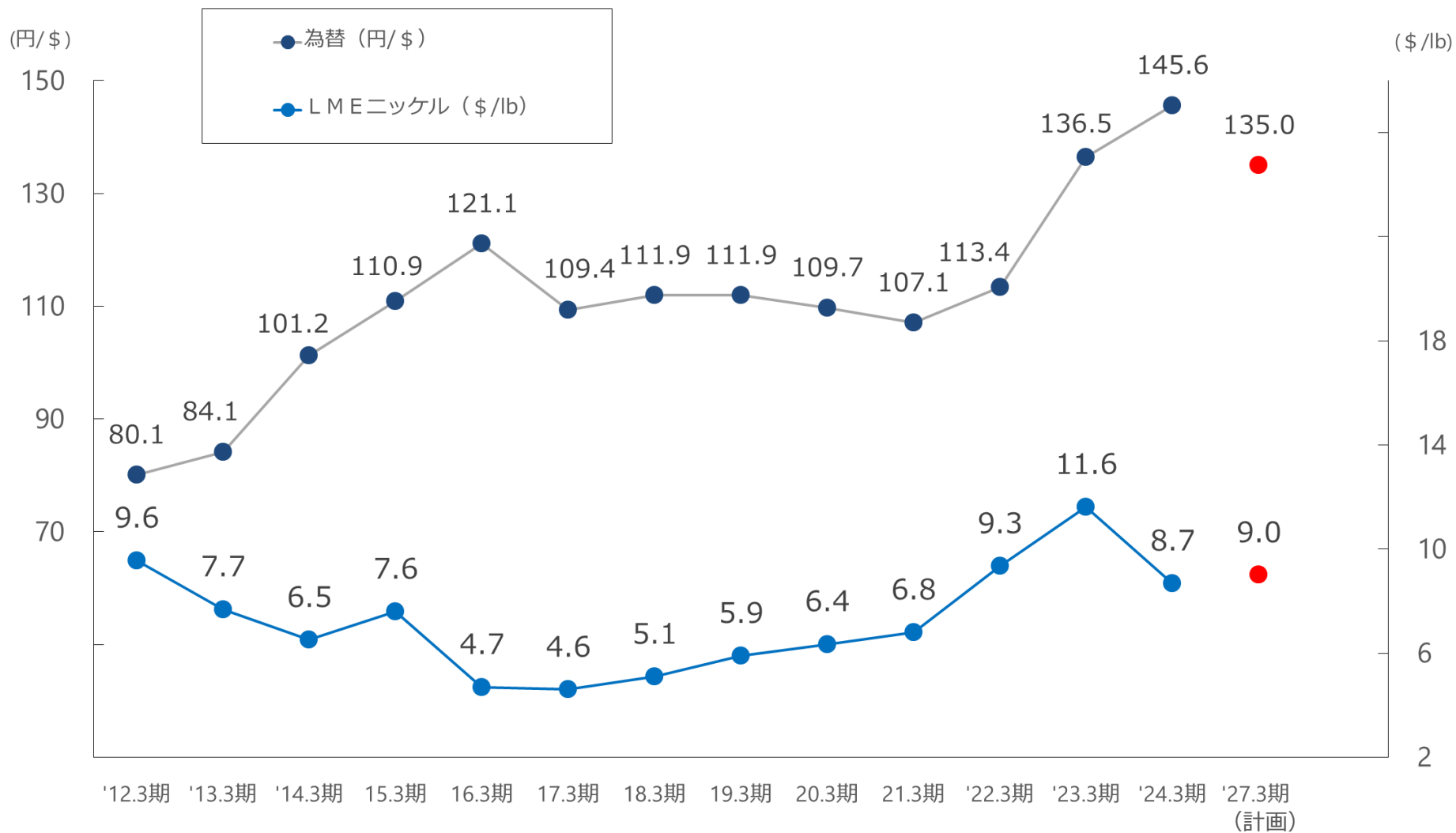
■ 配当方針を「連結配当性向50%程度」に引き上げ

✓ NSR23目標は、配当性向40%程度

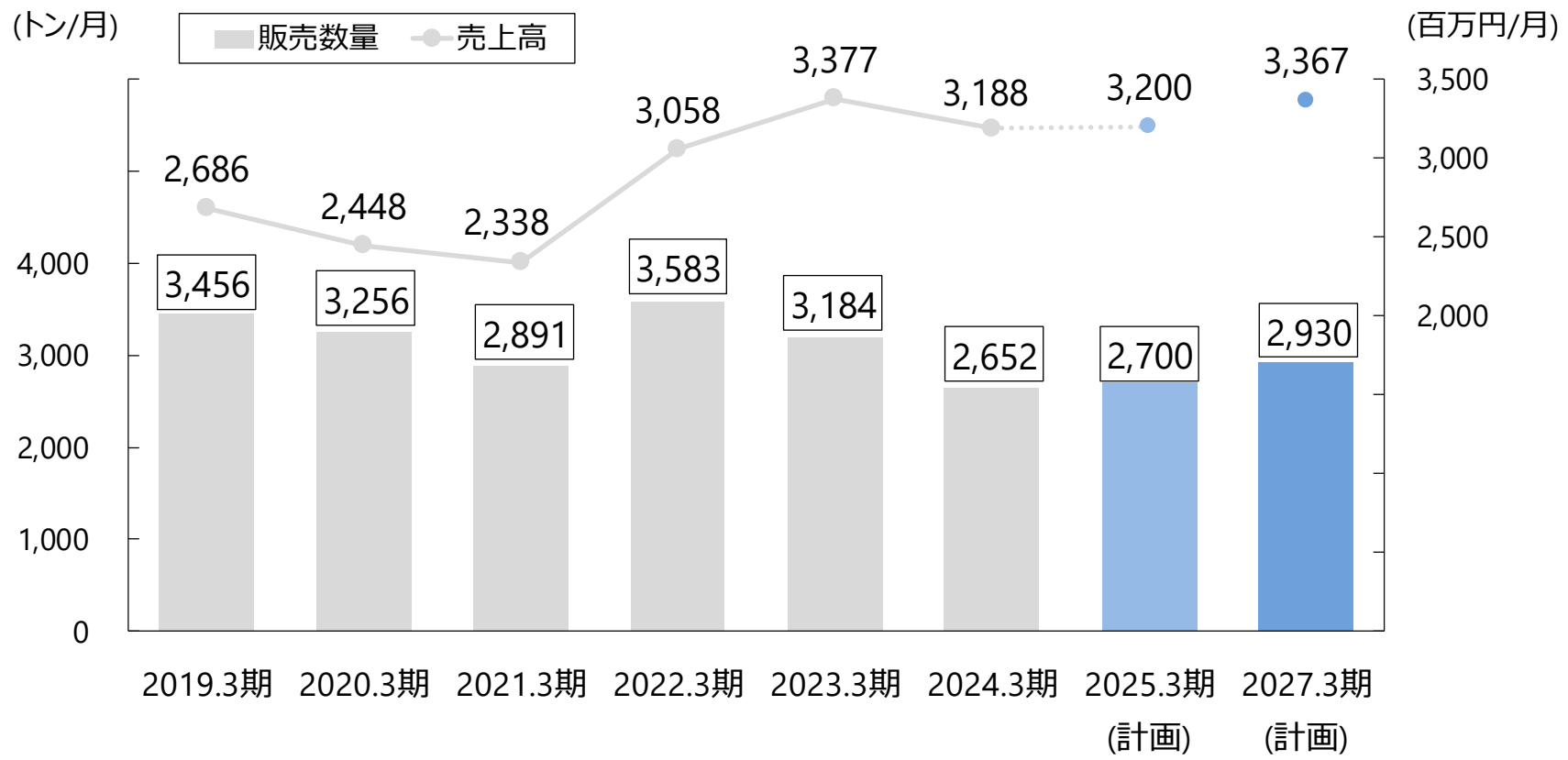


当社は基準日2024年3月31日にて普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。
2019.3期～2024.3期の年間配当（円/株）は分割後の株式数にて計算

前提条件：LMEニッケル価格・為替



部門別売上高の状況： ステンレス鋼線（月ベース）

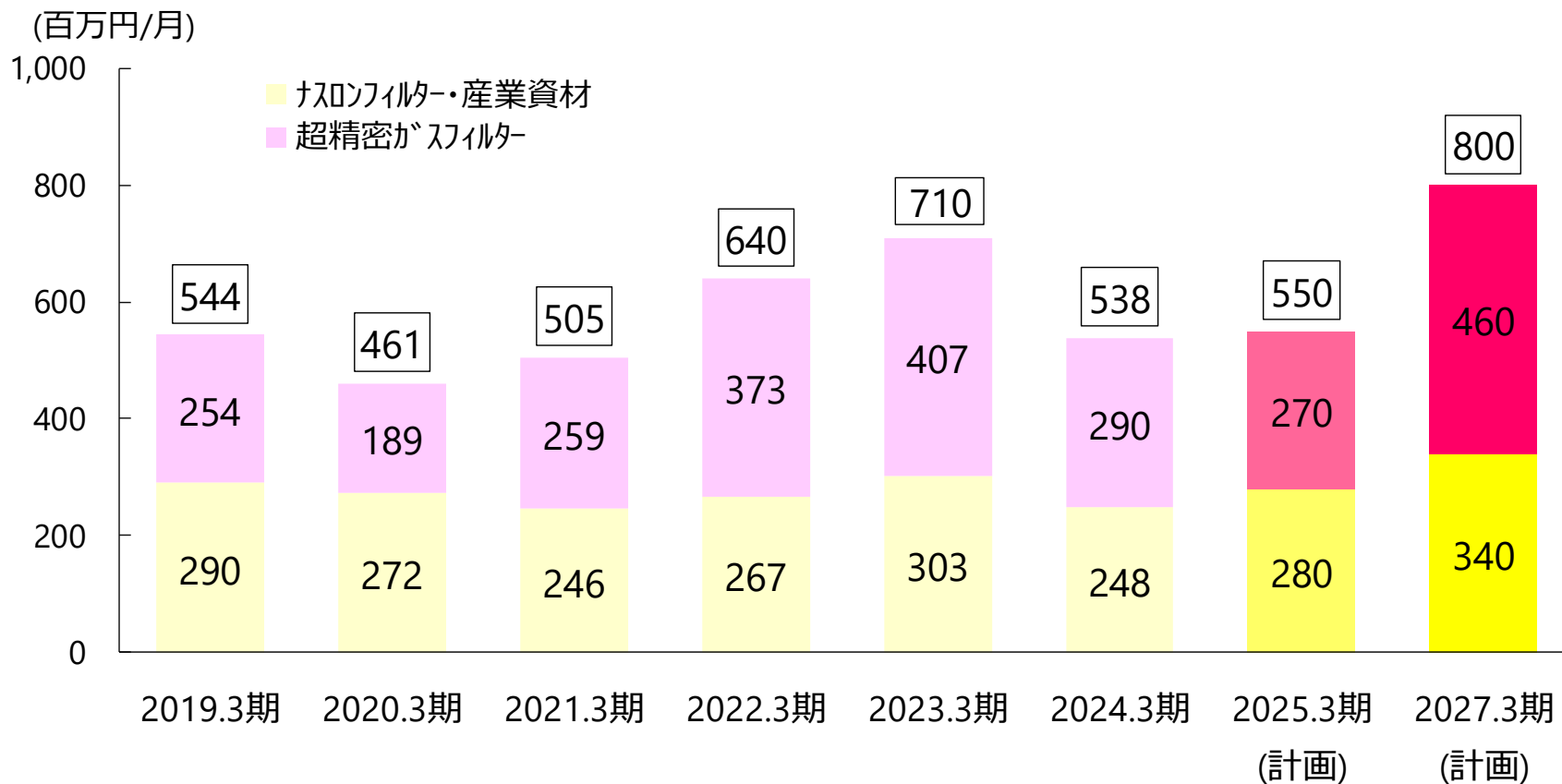


NSR20

NSR23

NSG26

部門別売上高の状況： 金属繊維（月ベース）

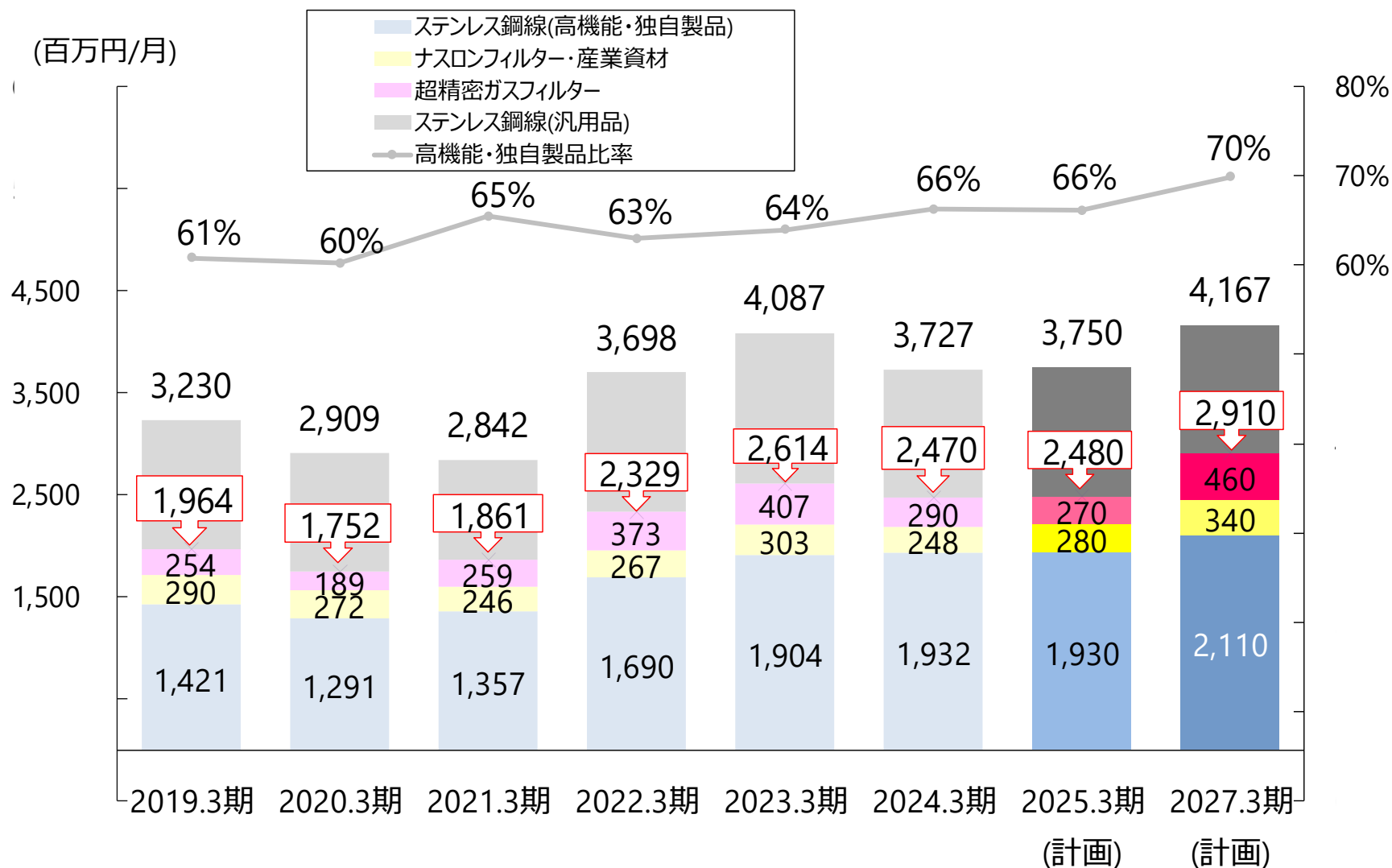


NSR20

NSR23

NSG26

高機能・独自製品の売上高（月ベース）



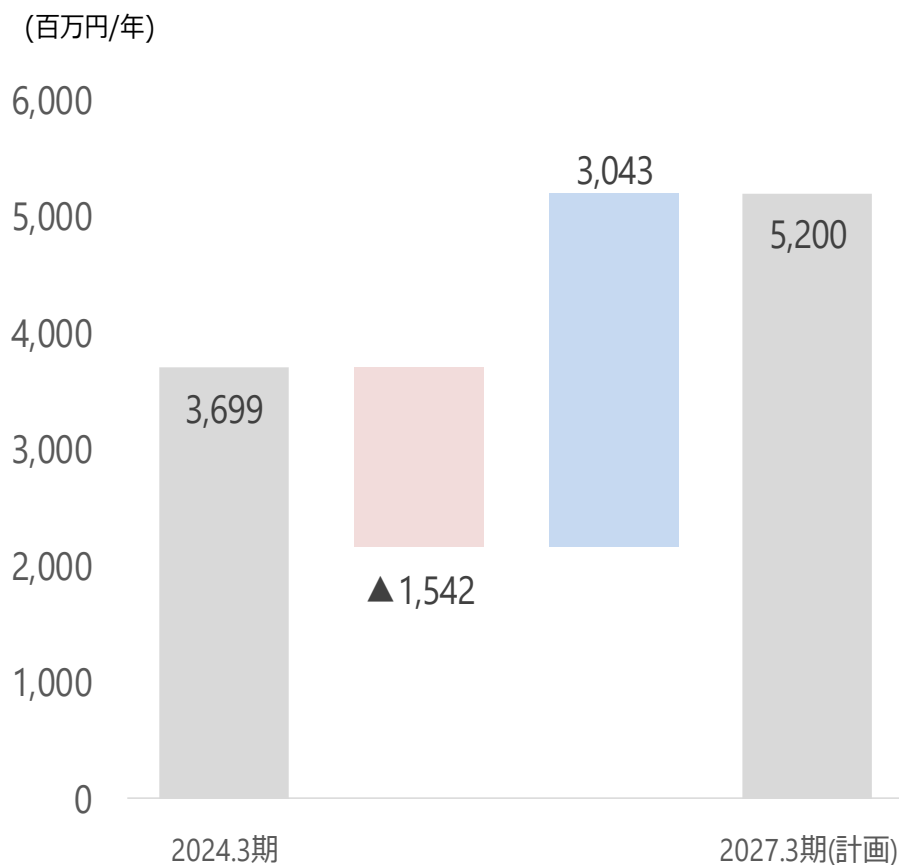
NSR20

NSR23

NSG26

経常利益の変化要因（23年度対比）

ロッド価格の前提	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
2024.3期	8.7	145.6
2027.3期(計画)	9.0	135.0



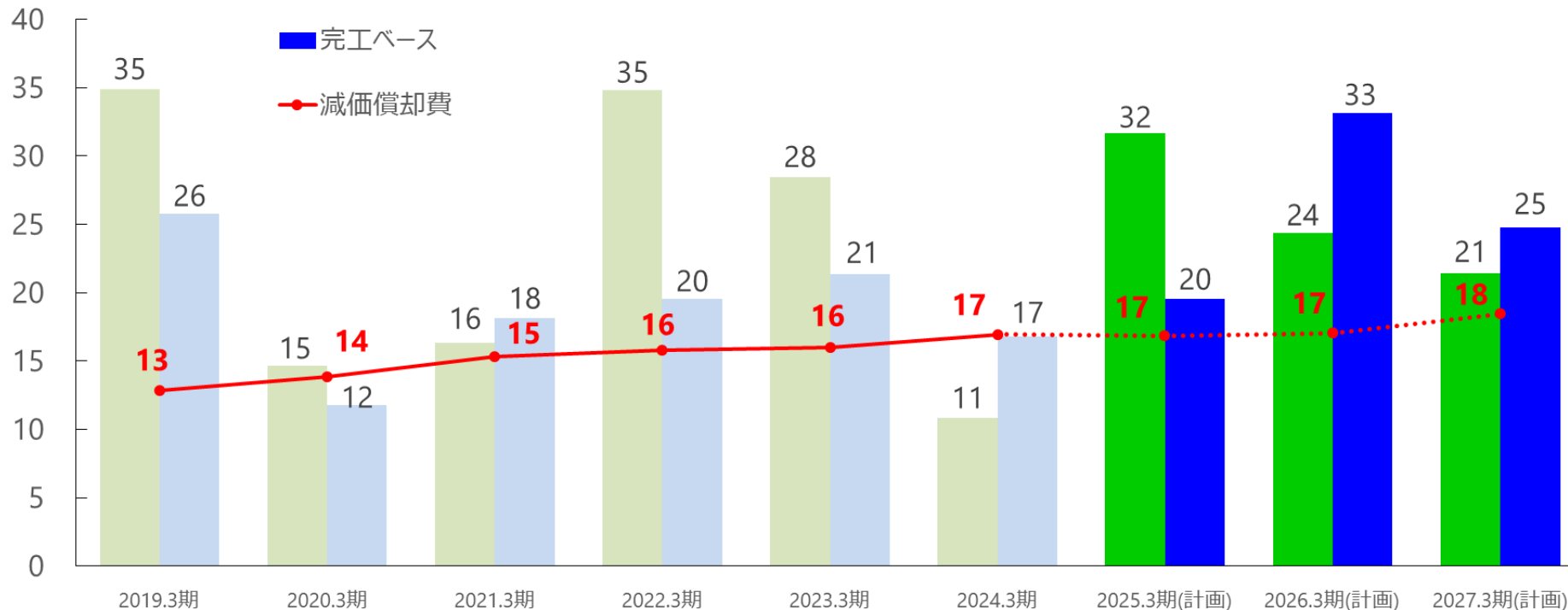
(百万円/年)

2024.3期 経常利益		3,699		
対比変化	営業損益	Ni市況	▲300	-
		数量変化等	-	+531
		原価低減・価格改定	-	+1,080
		内容差	-	+1,432
		固定費等	▲1,080	-
		合計	▲1,380	+3,043
	営業外損益	▲162	-	
2027.3期(計画) 経常利益		5,200(+1,501)		

設備投資の推移

(億円)

■ 稟議ベース
■ 完工ベース
● 減価償却費



NSR20

NSR23

NSG26

設備投資の内訳(稟議ベース)

連結設備投資額 (稟議ベース)

総額77.4億円 (うちESG関連57.3億円)

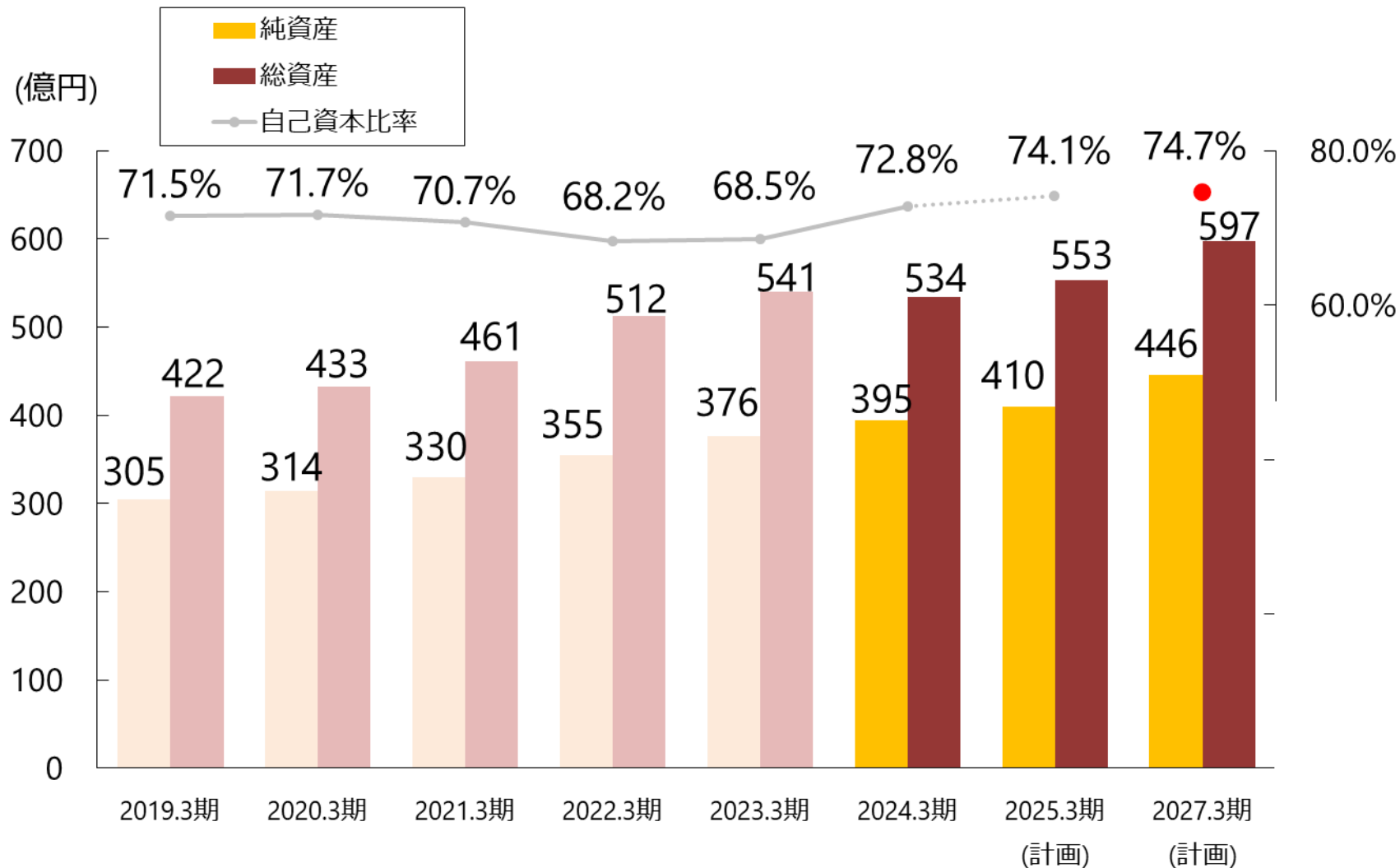
(単位：億円)

	E	S	G	その他	計
高機能・独自製品の機能能力増強	19	0	1	0	20
新商品・独自製品開発	10	0	1	0	12
生産基盤強化	22	4	0	20	45
うち高機能・独自製品分	15	1	0	7	22
うちBCP対応	1	0	0	3	4
うち更新保全	6	3	0	8	17
その他	0	0	0	2	2
計	51	4	2	20	77

主な投資案件

- 極細線増産投資 2.7億円
- 超極細線の量産化設備投資 5億円
- 金属繊維ストランド酸洗設備の更新投資 2億円
- 耐素龍 真空炉3号機設置 2億円
- タイ精線 生産管理システム 2億円

総資産・純資産・自己資本比率



NSR20

NSR23

NSG26



(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。